

# 田原公民館報

平成26年  
10月号



発行人 泉森 由貴  
公益財団法人 奈良市生涯学習財団 田原公民館  
奈良市若荷町1078-1  
TEL 81-0888  
発行責任者 泉森 由貴

## 「ごきげんよう」

館長 泉森 由貴

皆さま、ごきげんよう。この言葉ですぐに朝の連続テレビ小説「花子とアン」主役の花子が浮かんできます。他にも「腹心の友」「パルピテーション」「想像のツバサ」など視聴者を惹きつける魅力は人が話す言葉から生まれます。かつて漫画家の藤子不二雄さんが新しい漫画を描く時、印象の強いキャラクターを作り、子どもたちを夢中にさせることが大切だと、何かで読んだことがあります。そこには必ず個性を際立たせる台詞があります。「〜ナリ」「バケラッタ」「〜でござる」などを聞いて皆さんもすぐに思い浮かぶキャラクターがいるのではないのでしょうか。

今、子ども達の間で空前のブームになっている妖怪をテーマにしたアニメ「妖怪ウォッチ」にも色々なキャラクターが登場します。その中でも、「もんげー!」(ものすごいという意味)が口癖のコマさんが大人気です。このまねをする子ども達が増えているといえます。岡山の方言で今ではあまり使われなくなった言葉だそうで、キャラに個性を持たせようと制作者が全国の方言を調べた結果、採用されたそうです。

私が田原に勤めるようになって何より興味を持っているのが、この人が話す言葉です。同じ奈良県内出身ですが、それはど

ういう意味ですかと尋ねることが何度かありました。ただ世代によって話す言葉は違い、昔からの言葉が減ってきているという傾向もあります。以前地名のいわれについて触れましたが、それに並んでアイデンティティとしての言葉、田原弁を調査し、形として残していきたいと思っています。何気



なく使っている言葉がどこから来たのかこれからどうなっていくのか、来年度の公民館の取り組みとして計画いたします。その時はぜひ古くから田原にお住まいの皆さんにご協力いただけたらと思います。

刈り込み前の黄金色に輝く稲穂を観ながら、少しでもここ田原の魅力発信のお手伝いのできたらという思いに耽っています。

田原らしさを繋げていくのも公民館の仕事です。これからの公民館に引き続きご期待ください。「ごきげんよう、アツナラ」

## はじめまして地域おこし協力隊です

過疎地域の新たな担い手として地域おこし活動の支援や農林業の応援など地域協力活動に従事し、地域の活性化を図る「地域おこし協力隊」が田原にもやってきました。ここで田原の皆さんにご紹介いたします。



## 宜しくお願い致します

地域おこし協力隊 瀬戸山 景香  
はじめまして！9月1日より、奈良市地域おこし協力隊に着任しました瀬戸山 景香(せとやまけいか)と申します。今回ご縁を頂いて田原地域を担当することになりました。素晴らしい環境のもと、田原地区をもっといろんな方に知って頂くために、是非皆さんと一緒に活動していけたらと思います。歴史が好きなので博物館に行ったり、引越してきたばかりなので奈良の色々なところを回るのが最近の楽しみです。よろしくお願ひします！

**「あをによし里山だより」**  
地域おこし協力隊の活動は柳生、興東エリアと共に行っています。内容はブログでご覧になれます。インターネットで彼女達の活動を応援してください。  
<http://narachiikio.koshi.blog.fc2.com>  
あをによし里山だより  
検索

## 11月～1月の講座ご案内

<p><b>プチ田舎暮らし田原</b> —田舎のほせき—</p> <p>①くるみ餅・むしパン作り ②巻柿作り <b>全2回</b></p> <p>日時：①11月20日(木) 午前10時～正午 ②1月22日(木) 午前10時～11時半</p> <p>場所：田原公民館 料理実習室 対象：奈良市在住・在勤・在学の成人16人 費用：600円(材料費) 講師：①竹西さん②中尾さん 〆切：10月30日(木)</p>	<p><b>プチ田舎暮らし田原</b> —串柿としめ縄—</p> <p>①柿採り体験と串柿作り ②しめ縄作り <b>全2回</b></p> <p>日時：①11月15日(土) ②12月13日(土) 午後1時～午後4時</p> <p>場所：田原公民館 集会室 対象：奈良市在住・在勤・在学の成人20人 費用：700円(材料費) 講師：田原明誠会の皆さん 〆切：10月30日(木)</p>
---	---

## 玄関前のゴーヤが大収穫です！

今年も玄関横と講義室の外側にゴーヤとアサカオのグリーンカーテンを作りました。館報の挨拶でもふれましたが、日当たりが悪いのものなんのその。たくさんの実を付けてくれました。育ち方なのか品種の特徴なのか、ラグビーボールの様な形のものも収穫されました。収穫数は56個。来年も楽しみです。





取材：平古力三  
写真：泉森由貴

第6回は「奈良市指定文化財」の松本邸 松本陽一さんの登場です。

茗荷郵便局長をされてお忙しい中、松本邸奥の間でインタビューさせていただきました。▼松本邸は田原やま里博物館の中でも唯一の文化財建造物ですね。●この建物は附 願書 板絵図によれば江戸時代末期の文久3年(1863)2月となつています。庄屋屋敷の様子を残す大和棟の建物で、保存状態もよく平成17年に奈良市指定文化財に指定されました。▼明治時代の農業は何をされていたのですか。●お茶農家でした。主にお茶を作っていたこの建物の裏には2棟の茶工場があり、1棟は2階建てのようでした。煎茶を博覧会に出品して表彰も受けたようです。今も製茶道具がいっぱい残っています。田原のお茶のさがけが良かったと思いますよ。また、明治6年からここで郵便取扱所もやっていた。前島密が郵便制度を明治4年に創設しましたから、その2年後にはもう田原で現在と同じ郵便制度が動き出しました。黎明期の様子を今に伝える郵便取扱所の窓口やカウンターも残っています。預金、保険はそれから10数年後に始まりました。戦前、戦後はこの郵便業務を中心にしていました。▼ところで、文化財指定を受けると維持管理の責任も大変ではないですか。●私は、文化財という枠の中で屋敷を保存することを選びました。30年に1回、茅葺屋根の改修も必要となりますが、いま一番困っていることは庭や玄関の草引きです。今年も雨が多くて、ご覧のように雑草はすぐ伸びてきますので、へこたれていきます。▼90歳になられるお母様も戦前、戦後の激動の時代を乗り越えて松本邸を維持されたご苦労は大変でしたでしょうね。●戦後も祖父が公職追放にならず局長として働けたおかげです。公職追放になつて職を変わられた方もいたようです。▼当時は郵便局の担当エリアはあったのですか。●茗荷郵便局は水間地区を除いた田原全域でした。▼このお屋敷から、郵便局が移転された理由は何ですか。●田原村が奈良市へ合併した昭和33年に県道沿いになりました。徒歩で運んでいた郵便物を岩石谷を通る路線バスに載せることになったからです。▼ところで松本局長さんは跡継ぎとして郵政省に入られたのですか。●私は公務員として昭和50年の採用で大阪市此花区郵便局からスタート、東京国立研修所に2年と関東郵政局で3年、61年から近畿郵政局を経て、平成2年に茗荷郵便局に赴任しました。▼それからですね。この冊子に書かれていますTAS K21の活動は。●平成3年3月に田原総合研究所を有志で発足し、活発な活動になりました。ちょうど30代から40代の活気のある世代が「地域の将来は、地域の手で作りたい。」と田原各町から集まりました。また、お母さん方の子育てグループ「教育ボランティアサークルアンダンテ」もできました。▼今も各地で地域おこしが盛んですが、又TAS K21を再稼働してください。●組織はなくなっていますが、実は、木蓮を植栽し「木蓮の里」を有志で作っています。目標は三千本で現在千本を植栽しました。交通便利な田原ですから新しい名所になって各地から来てもらうのが夢ですね。



木蓮の植栽現場に於

茗荷郵便局長をされてお忙しい中、松本邸奥の間でインタビューさせていただきました。▼松本邸は田原やま里博物館の中でも唯一の文化財建造物ですね。●この建物は附 願書 板絵図によれば江戸時代末期の文久3年(1863)2月となつています。庄屋屋敷の様子を残す大和棟の建物で、保存状態もよく平成17年に奈良市指定文化財に指定されました。▼明治時代の農業は何をされていたのですか。●お茶農家でした。主にお茶を作っていたこの建物の裏には2棟の茶工場があり、1棟は2階建てのようでした。煎茶を博覧会に出品して表彰も受けたようです。今も製茶道具がいっぱい残っています。田原のお茶のさがけが良かったと思いますよ。また、明治6年からここで郵便取扱所もやっていた。前島密が郵便制度を明治4年に創設しましたから、その2年後にはもう田原で現在と同じ郵便制度が動き出しました。黎明期の様子を今に伝える郵便取扱所の窓口やカウンターも残っています。預金、保険はそれから10数年後に始まりました。戦前、戦後はこの郵便業務を中心にしていました。▼ところで、文化財指定を受けると維持管理の責任も大変ではないですか。●私は、文化財という枠の中で屋敷を保存することを選びました。30年に1回、茅葺屋根の改修も必要となりますが、いま一番困っていることは庭や玄関の草引きです。今年も雨が多くて、ご覧のように雑草はすぐ伸びてきますので、へこたれていきます。▼90歳になられるお母様も戦前、戦後の激動の時代を乗り越えて松本邸を維持されたご苦労は大変でしたでしょうね。●戦後も祖父が公職追放にならず局長として働けたおかげです。公職追放になつて職を変わられた方もいたようです。▼当時は郵便局の担当エリアはあったのですか。●茗荷郵便局は水間地区を除いた田原全域でした。▼このお屋敷から、郵便局が移転された理由は何ですか。●田原村が奈良市へ合併した昭和33年に県道沿いになりました。徒歩で運んでいた郵便物を岩石谷を通る路線バスに載せることになったからです。▼ところで松本局長さんは跡継ぎとして郵政省に入られたのですか。●私は公務員として昭和50年の採用で大阪市此花区郵便局からスタート、東京国立研修所に2年と関東郵政局で3年、61年から近畿郵政局を経て、平成2年に茗荷郵便局に赴任しました。▼それからですね。この冊子に書かれていますTAS K21の活動は。●平成3年3月に田原総合研究所を有志で発足し、活発な活動になりました。ちょうど30代から40代の活気のある世代が「地域の将来は、地域の手で作りたい。」と田原各町から集まりました。また、お母さん方の子育てグループ「教育ボランティアサークルアンダンテ」もできました。▼今も各地で地域おこしが盛んですが、又TAS K21を再稼働してください。●組織はなくなっていますが、実は、木蓮を植栽し「木蓮の里」を有志で作っています。目標は三千本で現在千本を植栽しました。交通便利な田原ですから新しい名所になって各地から来てもらうのが夢ですね。

主催事業「プチ田舎暮らし 田原・手もみ茶」に参加して

受講生 南京終町 西岡一晃さん

楽しかった！自分で作る手もみ茶の、その美味しかったこと！  
摘み取った新芽も、帰宅後、無事紅茶にすることができました。

実は、すっかり住宅地となった我が家の隣にも、30数年前までお茶の木が植えられていました。幼い頃の私にとっては、ただ遊ぶのに邪魔な木でしたが、当時は、ごく普通に近在の家々でも自家製のお茶が飲まれていたのでしょうね。

講座中に、茶畑で落ちていた茶の実を少し持ち帰ってきました。来年には、庭に小さな芽が出てくることを祈って。茶葉を摘めるのは5、6年先でしょうか。今から楽しみです。

最後になりましたが、今回、親切丁寧に御指導いただきましたお茶農家の方々、公民館スタッフの皆様には、心からお礼を申し上げます。



一芯二葉で摘み取ります

茶畑で説明を受けました



ぬるめのお湯で抽出します

素早い作業にみとれます

田原なんでも文化祭チャリティバザーのお知らせ！  
バザーの出品物を地域の方に広く募集します。  
品目：食品を除く雑貨など(贈答品、不用品)  
×切：10月31日(金)  
備考：原則として新品または未使用品に限ります。  
バザー開催日は11月8日(土)9時~12時です。

Channel Nara 奈良市動画チャンネル  
奈良市 検索  
奈良市動画チャンネルを「くわんくわん」で検索して、上記主催事業「プチ田舎暮らし 田原・手もみ茶」の様子が取材されました。

- 10月の公民館関係行事とお知らせ
- 2日(木) ヘルシーバランス男の昼ごはん
  - 5日(日) 第4回 田原ファン倶楽部(交流体験と餅つき)
  - 8日(水) 第7回 チャレンジ和太鼓
  - 11日(土) 第6回 TAWARAキッズ(山添村へ館外学習)
  - 16日(木) 田原やま里絶景ウォーク
  - 19日(日) 田原体育まつり2014 (やすまるグラウンド)
  - 22日(水) 第8回 チャレンジ和太鼓
  - 31日(金) 第5回 老春塾(俳句塾とカラオケ)

